

新たな生活が始まります！



毎日小中学生の登校を優しく見守る光景です！
新しいランドセルを背負った新1年生を導く上級生！
元気に遊び たくさん学び 充実した学校生活を期待します！

令和7年度予算……②～④

3月定例会承認・議決結果 ……⑤

議員から見たポイント！ ……⑥～⑦

一般質問 ……⑧～⑪

村有施設のあり方 “S” ウェルネスクラブ小谷を考える！ ……⑫～⑬

どうなる小谷村の公共交通 ……⑭～⑮

議会活動報告・表紙のひと・編集後記 ……⑯

《一般質問》

動画配信
はじめました！

 YouTube

令和7年度の当初予算

一般会計

44億4900万円

前年度比2800万円↓ 0.63%↓

全会計総額

53億9974万円

前年度比3930万円↓ 0.72%↓

令和7年度の一般会計、特別会計、企業会計の当初予算が、3月定例会の本会議に提案され、予算特別委員会を設置し、委員会に審査が付託されました。

4日間における審査の結果、予算の一部を修正すべき意見が提案されました。しかしながら、定例会の最終日に、小谷村長より一般会計について訂正案が提出され、本会議にて受理しました。訂正案を再審議し、訂正案含むすべての予算案を可決しました。

区 分	予算額(千円)	比較	予算の傾向
一般会計	議会費	55,600	1.6%↑
	総務費	747,632	33.2%↑
	民生費	471,434	7.0%↑
	衛生費	321,451	3.2%↑
	農林水産費	420,381	29.5%↓
	商工費	456,381	2.4%↓
	土木費	716,963	14.6%↓
	消防費	188,394	23.8%↑
	教育費	510,375	1.7%↑
	公債費	553,334	1.8%↑
特別会計	511,700	2.3%↑	国保・診療所・後期高齢者の特別会計。社会保障費が増加傾向にある。
公営企業会計	439,044	4.9%↓	上下水道事業の企業会計。長野県発注工事に伴う移設関連工事が減少。

※注）公営企業会計（簡易水道・下水道）は、収益的・資本的収支の当初予算額合計である。

一般会計は
前年度同規模の
44億円

一般会計は前年並みの44億円となりまして、歳入においては、個人住民税が所得の増加から約800万円

円の増、地方交付税も1億1000万円増、対して県補助金は5600万円の減、村債（借入金）も6800万円減額を予定しています。歳出では、総務費が1億8600万円増、民生費、消防費もそれぞれ3000万円増となっています。

す。反対に、農林水産業費1億7600万円、土木費1億2200万円が減額となっています。歳出の状況は、総務費が前年比33%増、主に人件費及び庁舎におけるコンピュータシステムの更新などが増加しています。また、農林水産業費で30%、土木費15%と前年比より大幅に減額されています。特に国庫補助金を伴う事業の縮小が大きくなっています。

村債残高とふるさと応援金活用事業

村債の残高は、令和6年度末見込み51億円、前年度と比較し、3億7000万円減少しています。ふるさと応援寄付金を活用し、12事業1億4000万円の事業を予定し、うち1億2600万円を基金から繰入れして事業を行うこととなっています。

予算特別委員会では議案の修正を意見！

3月定例会において、当初提出された一般会計予算は、歳入歳出で44億8000万円でありました。予算特別委員会では、事業の概要や予算の説明から次の2事業に関しては、修正すべきと判断しました。

①民間賃貸住宅等建築改築補助金 ②おたり観光みらいづくり補助金

この2つの補助金においては、補助事業の目的が不明確なこと、補助要綱が未整備なことなどから予算を修正すべき意見が全委員から提案されました。

最終的に村は、委員会指摘の2事業を削減し、原案より3100万円減額した訂正案が提出され承認を得ました。

令和7年度 小谷村の大事な予算をどのように使うのか？

予算規模44億円であるが、人件費など経常経費が高騰してとても厳しい村政の運営になります。その中でも、各項目における新規事業や主となる事業をピックアップ。

庁舎機能の充実

公用車購入・車庫建設

3182万円

公用車2台の更新と雨中
バイパス工事により撤去した
公用車専用車庫を建築する。

長野県防災行政無線設備
更新負担金

1919万円

災害時の緊急連絡無線の
整備更新。



長野県と小谷村をつなぐ防災無線

基幹系システム構築

1億3971万円

村所有の情報データ通
信のためのシステム構築を
行う。(戸籍住民関連システ
ム含む)

社会福祉の充実

地域活動支援センター運営

835万円

障がい者の居場所や活動
の拠点を設置、労協ながの
へ委託し活動支援を行う。



おたりつぐらのスペースへ活動拠点が設置される

診療所LED工事

1056万円

小谷村診療所の照明器具
のLED化の工事を行う。

若者ふれあい事業

90万円

若者交流の場を提供、夏
冬それぞれの開催により出
会いの場を創設。

生活環境の充実

道路補修・

生活関連緊急整備事業

1億4500万円

村道の補修工事、村有施
設の修繕などの工事を行う。
路面のオーバレイを中心
とした舗装工事12か所と生
活に密着する道・建物を補
修する生活関連工事を23か
所を予定。



穴ぼこが目立つ村道

土谷地区移住促進住宅

4600万円

移住促進のため、土谷地
区の村有地に移住促進住宅
を建設。家族向け2LDK
1棟を予定。地域住民のバ
ックアップによる移住者支
援を行う。

教育環境の充実

小学校LED工事

2500万円

小学校の照明器具のLED
化の工事を行う。主に教
室のLED化を行う。

小中学校学習用

タブレット購入

1350万円

現在のタブレットの認証
期限切れにより新タブレッ
トを導入する。



教育環境の向上もデジタル技術が使われる

白馬高校支援

4720万円

地域の高校をサポートす
る。地域と共に歩む高校と
しての充実を図る。

この予算の内容は？

何をするの？

● 予算特別委員会での主な質疑を紹介します。

庶務係

Q 職員研修費の内容は？

A 毎年職員を海外研修へ参加させている。(約50万円)

Q 村長車を更新するのか？

A 現在平成25年車、修理等が高額のためである。
(約700万円)

Q 7年豪雨災害から30年、どんな事業を計画？

A 既存の写真、ビデオのデジタル化を委託。またシンポジウムも計画している。(約100万円)

税務

Q 滞納整理のための、裁判所への申し立てとは？

A 滞納税の請求者がいない場合に財産管理人の選任を申し出る。
(約100万円)

Q 財源確保のため、入湯税を他市町村並みに課税しないか？

A 社会情勢から改正しない。(小谷村の条例は近隣自治体より50円安い)

企画

Q 庁内の情報ネットワーク構築は、国の支援あるのか？

A 国から約1億円、残りは村の負担。
(約1億5000万円)

農林係

Q 土地改良事業、林道事業の工事予算が？

A 令和7年度は予算計上していない。補修等は直営で実施予定。

集落支援係

Q 土谷地区で移住促進住宅を新築する理由は？

A 地域の要望と土谷地区には、住宅に利用できる中古物件がない。
(約4500万円)

観光商工係

Q 村営バス等公共交通の予算、国から支援と安価にする対策は？

A 国から交付税約5000万円。経費削減の対策は考えなければならない。
(約1億3300万円)

建設係

Q 村営住宅の稼働率と入居希望者の状況は？

A 稼働率は約98%、入居理由は不明であるが、希望者は多い。
(家賃収入約1500万円)

水道係

Q 観光客が増加傾向であるが、水道の収入は？

A 前年より増加傾向である。(冬期は月100万円アップ)

Q 小谷村の下水道管の耐用年数や対応は？

A 管路は耐用年数に達していないが、不具合等あれば直ちに対応する。

教育委員会

Q スポーツ協会や総合型スポーツクラブの予算減の理由は？

A 経費見直しが理由。

Q 部活の地域移行について状況は？

A 令和8年度から中学校の部活動が地域へ移管される予定。現在対応を協議中。

住民係

Q ウェルネスのプールの水温が低い原因をしっかりと調査すべきでは？

A 熱交換の不具合調査を秋以降行う予定。

診療所

Q 診療所のLED工事、休診を極力せずに実施を？

A 工事工程など調整し、休診のない計画とする。
(工事費約1100万円)

健康推進係

Q 医療費削減のために、特定検診の積極的呼びかけは？

A 現在検診率は60%、特定検診を受診するよう村民に積極的に声がけする。
(検診費500万円)



3月定例会承認・議決結果

◇ 3月定例会 承認・議決結果

番号	件 名	審 議 結 果
議案第3号	令和6年度小谷村一般会計補正予算（第8号）	可 決
議案第4号	令和6年度小谷村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	可 決
議案第5号	令和6年度小谷村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第5号）	可 決
議案第6号	令和6年度小谷村簡易水道事業会計補正予算（第4号）	可 決
議案第7号	小谷村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第9号	小谷村非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第10号	小谷村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第11号	小谷村国民健康保険診療所使用料等徴収条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第12号	小谷村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第13号	小谷村簡易水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第14号	令和7年度小谷村一般会計予算	可 決
議案第15号	令和7年度小谷村国民健康保険特別会計予算	可 決
議案第16号	令和7年度小谷村国民健康保険診療施設特別会計予算	可 決
議案第17号	令和7年度小谷村後期高齢者医療特別会計予算	可 決
議案第18号	令和7年度小谷村簡易水道事業会計予算	可 決
議案第19号	令和7年度小谷村下水道事業会計予算	可 決
議案第20号	大町市及び小谷村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	可 決
議案第21号	小谷村社会福祉施設・観光交流施設の指定管理者の指定について	可 決
議案第22号	伊折農山村体験交流施設の指定管理者の指定について	可 決
議案第23号	小谷村健康保険条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第24号	小谷村健康保険税条例の一部を改正する条例について	可 決

◇ 議員による発議

番号	件 名	審 議 結 果
発議第1号	小谷村議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について	可 決

小谷村政 議員から見たポイント！

小谷村の課題って？たくさんあります。転出に歯止めがかかりません！
さらに人口減から地域そのものの衰退！
人件費や物価の高騰だって深刻です。そして何より税収増加が見込めず
財政難の状況。でも前に向かないと、チャレンジしないと何も始まりま
せん。それぞれの議員が村民の期待と村に必要な施策を掲げました！



横澤

匠

活気ある観光地を！

小谷村らしい観光地づくりを目指すべき。
「おたり」の温かみのある観光地を築く。

事業者支援の充実

村内事業者の事業継承が切実な課題である。
若い人が小谷村で事業をしたくなる環境が必要。



柴田

友造

魅力ある村づくり

小谷にしかない貴重な資源、
それぞれの地域の魅力を最大限活用する。

地域の文化継承

小谷村の伝統・文化を守っていく。
保存・継承は今後の小谷村の財産となる。



田原

富美子

地産地消への取り組み

この村の産物を大事にそして継承する。
子ども達に対しても食育からの地産地消を拡大。

地域で移住サポート

移住者を温かく迎え入れる地域を創出。
地域で盛り上げる移住施策の実現。



清水

秀雄

集落営農による地域づくり

農地を守る・活かす取組は必要不可欠。
地域で協力、地域間で連携する人づくりと地域
づくり。

森林環境譲与税と獣害対策

獣害対策のための積極的な緩衝帯の整備。
地域とともに税の有効活用。



相澤 稔

南小谷駅周辺の活性化

玄関口である南小谷駅周辺の明るさと活気を取り戻す。

人・交通・交流の拠点とした活用。

共に考え、力を合わせる村

小谷村の現実と将来を見つめ合う。

話し合い、考え、協力ができる村に。



吉澤 学

高校生活の充実を求めて

通学に不利とは言わせたくない！

充実した高校生活応援プロジェクト。

物価高でも安心できる生活

生活に影響を及ぼす価格高騰。

地域経済を循環するシステムづくり。



深澤 英喜

観光地の今後のあり方

時代の変化に合わせた観光地になるために
これからの観光産業について考える。

公益的施設の充実と整備

訪問客への配慮と快適な環境づくり。

公衆トイレの清潔さと安心して往来できる道路の充実。



曽根原 恵子

充実した社会福祉の実現

「福祉」という言葉の範囲はとても広い。

目標は、社会福祉の充実と村民の幸せ！

地域活動支援センターに期待

障がい者の活動拠点として、社会生活にかかわりながら、小谷ならではの活動支援を充実させていく。



吉岡 久人

遊休農地にさせない体制の確立

小谷村の農地を守る、維持する。

農地があつての小谷村。「農地の守り人」設置。

地域に役立つ公共交通

誰もが有意義と考える交通体制の確立に向けて
小谷村に適した公共交通対策を進める。



宮澤 正廣

子ども達のスポーツ環境の充実

子ども達に多くの体験を！

スポーツ事業も教育、子育ての一環として。

拠り所「おたりつぐら」

地方創生を合い言葉に建設。

住民のため地域のための可能性を探る。



しみず ひでお
清水 秀雄 議員

動画はこちらから ▼



10年後の農業を見据えて 農地維持に取り組む地域計画！

問 地域計画による目標面積・推奨作物は何か。

答 村長 中山間地域直接支払交付金事業による計画をベースに取りまとめている。

水田 157・3ヘクタール、畑地11ヘクタール、これら農地維持のため水稻・そば・雪中キャベツなど村振興作物の作付けを継続する。

問 担い手や新規就農者・人材確保の計画は。

答 村長 認定農業者、認定事業者が各地域の核となり農業の担い手になるよう育成を目指す。営農条件が有利でない本村において積極的に新規就農者の確保にも取り組んでいく。

問 水稻面積・推奨作物の栽培していくための支援は。

答 観光地域振興課長 農家への支援は重要、集落営農組織は大きな力ギとなる。ソフトハードの両面で支援していく。

問 担い手、新規就農者の育成計画は。

答 観光地域振興課長 関係機関と連携し育成を計画をしている。補助事業の斡旋をしながら、実情を勘案し、可能な支援を考えている。

問 今後、農地維持の仲間が減少。水路農道の維持管理について、労力削減の方針は。

答 観光地域振興課長 農業者の減少は避けられない。作業効率化を展開する必要がある。農地耕作条件改善事業など有利な補助事業により環境整備を行う計画を進めている。



今後も維持していく必要のある農地



よしざわ まなぶ
吉澤 学 議員

動画はこちらから ▼



令和7年度の重点事業 災害を伝える、移住定住強化、舗装工事

村長の考える重点事業

問 令和7年度予算の重点事業は。

答 村長 新規として、①豪雨災害の記憶を後世に伝える事業、②移住促進住宅建設事業、③村道補修工事（舗装工事）である。

問 観光における重点施策は。

答 村長 大糸線の利用促進、南小谷く糸魚川間だけでなく、JR東日本区間も利用促進施策を行っていく。また、登山道の整備に対する協力金の徴収を行う。観光の課題解決のため、補助金を新設する。

村長の行動を明確に

問 村長の要望行動について、アポイントをとっていくのか。

答 村長 当然アポはとる。長野県東京事務所などへも依頼することもある。

問 村長行動について、報告する必要がある。ホームページなど住民に対しても理解できるよう行動をオー

ブンにすべきでは。

答 村長 行動内容によっては公開できないものもある。また、公表方法は私のやり方がある。

問 村長の行動は、庁内でも把握できているのか、また報告もされているのか。

答 副村長 政策的に国の省庁へ相談に行くこともある。全ての行動を詳細に報告されているわけではないが、首長として行動に理解をお願いする。

南小谷駅周辺整備を

問 南小谷周辺の整備計画は。

答 村長 踏切周辺の村道整備内容が決定次第、利用する整備計画にはいる。



平成7年の豪雨災害から30年



そね はらけいこ
曾根原恵子議員

動画はこちらから ▼



安心して暮らせる村になるために！ 福祉と産業の充実

安心のくらし

閭村民の困りごと調査の結果は。今後の対応は。

閭村長 70歳以上の高齢者を対象に調査した。調査時点では自助、共助により生活しているとの回答が主であった。自前で草刈りや除雪することを基本とし、親族や近所からの協力体制が続いている。ただし、今は良いが、今後が心配との声がある。

在宅の要を守る公的責任

閭訪問介護報酬引き下げにより、中山間地の訪問介護は効率が悪い。また、介護事業者は正規・パート職員がともに激務をこなしている。正規職員を増強し、慢性的な従事者不足にならないための対策は。

閭村長 社会福祉活動において、村では事業者に対する支援を実施している。ご指摘のとおり、介護事業所の不採算性については認識

している。

産業の振興を

閭令和7年度農林分野の予算は。

閭村長 村独自の支援策は考えていない。国庫補助を活用し農地整備や担い手への集積を考えたい。

閭森林環境譲与税活用事業は。エネルギー政策は。

閭村長 小中学校周辺の森林整備を継続、エネルギー対策としては新ステーション事業を考えている。

閭伐採だけでなく、植樹することでも森林活性化ができるか。

閭観光地域振興課長 価値のある作業として検討したい。



来馬河原のアカシヤを薪で利用



よしおか ひさと
吉岡 久人 議員

動画はこちらから ▼



特急あずさの廃止 J R 大糸線の今後の大きな分岐点になるのでは！

閭あずさの乗り入れ廃止について、J R 社との事前の協議はあったのか。

閭村長 7月26日、担当者に對する説明以降、12月までに4回の説明があった。先方からの説明・報告であり協議とは捉えていない。

閭ダイヤ改正発表（12月13日）後の村としてのアクションは。

閭村長 村のホームページに首長としての言葉を掲載した。

閭本3月議会における行政報告においても、大糸線に関する報告は一切なかったがなぜか。

閭村長 行政報告の必要がないと認識しているからである。

閭J Rは自治体へ協議を行うと思うが。

閭村長 J R側からダイヤ改正の考え方や利用の少ない路線等の説明であった。

12月3日には、3月のダイヤ改正のプレスリリースの説明を受けた。

閭特急乗り入れ廃止でどんな影響があると考えるか。

閭村長 乗り換えが必要になること、南小谷駅での接続が悪くなることがある。さらに糸魚川～南小谷間の乗車人数の減少も考えられる。

閭特急廃止だけでなく、普通列車も削減されている。通学にも大きな影響を与えると思うが。

閭村長 J R側の判断である。



3月14日、『あずさ』を見送る村民



たはら ふ み こ
田原富美子 議員

動画はこちらから ▼



移住者に対して 地域住民のサポート体制が重要！

移住定住の取組みについて

閭移住定住促進のため、課題である移住環境の整備を進めていくために、村の将来ビジョンはあるのか。

答村長 「小谷村第6次総合計画」において、記載がある。

閭移住促進住宅を建設する予算が計上されているが、移住促進住宅を建設する理由は。

答観光地域振興課長 村営住宅は維持費が増大することとも考慮し当面建設はしない。移住促進住宅は地域に溶け込んで生活することから、建設を行う。

閭移住促進住宅の入居者へのサポートを含め、地区への相談、説明の内容は。

答観光振興課長 入居者へ丁寧の説明するほか、地区住民と一緒に地域の状況も伝える努力をしている。

閭移住者に対して、生活上のサポートをする必要

性があるが、研修制度等の実施は。

答観光地域振興課長 移住

者と地域住民が互いに交流の中で支援していくことが理想である。

閭村が所有する宅地候補地の今後の活用予定は？

答村長 住宅環境に適している候補地は活用すべきと考える。

閭移住促進住宅の建設候補地として取得した宮下地区の宅地について現在の計画は？

答村長 今の時点では構想はもっていない。



移住定住促進住宅建設予定地（土谷地区）



よこさわ たくみ
横澤 匠 議員

動画はこちらから ▼



ニュージーランド研修 厳格かつ正当な選考を求む！

閭中学生の海外研修の実施目的は。

答村長 国際社会に対応

すべく各個人の視野を広めるとともに、村・学校の代表として交流活動のできる人材の育成を目的として実施している。

閭村として期待する効果とは。

答村長 生徒が見聞きた経験を広く多くの方に伝えることで、他の国の文化を理解・尊重し国際交流の輪が広がっていくことに期待する。

閭参加人数が4名という理由は。

答総務課長 本事業の参加枠は4名であり、先方の受け入れ体制も踏まえた中で設定した。

閭8名の応募があったが、選考方法は。

答総務課長 作文及び面接、抽選で決定。自己管理ができ集団行動ができる生徒を選考した。

閭面接を英語で実施した

とのことだが、英会話でのディスカッションの採点基準は。

答総務課長 英語に堪能な職員から意見を伺い、村長以下で基準を確認し選考を行っている。

閭次年度に向けて選考方法の基準の改善が必要だが、改善点についてどう捉えているか。

答総務課長 改善する余地はあると考えている。意見を踏まえて最善の策を考えたい。



ニュージーランドの風景

動画はこちらから ▼



あいざわ 相澤 みのる 議員



会社の清算終了に向けて手続き開始！ (株) おたリアセット

閭会社の清算に向けて課題であった訴訟が結審したと聞くが、判決に対する村の評価、会社の財務内容はどんなか。

答村長 昨年暮れに結審し、本年1月7日『控訴棄却』の判決が確定した。村としては判決に納得している。会社の財務内容は昨年9月の議会で報告後、詳細な報告は受けていない。資産は預金、建物、土地である。

閭会社清算に向けた手続きや資産の処分はどのように考えているか。

答村長 清算終了へのスケジュールは資産をどのように処分するかで異なり、アセットの資産を村へ寄付する場合や売却するなど清算の手法がある。『売却する場合は村と協議のうえ、決定する。』と説明した過去がある。いずれにしても現時点では明確に答えられない。

閭会社資産の処分としては売却を前提に村出資金の回収を図ることが最良と考えるが。

答村長 現段階では回答することができないが、売却する場合は競売、公売が考えられる。

閭転売などを目的とした者に対する売却については、応じないこととすべきであると考えるが。

答村長 趣旨は理解する。



観光地の再生は従前からの課題

動画はこちらから ▼



しばた 柴田 ゆうぞう 議員



村長『肝いり』の事業！ 観光再生を目的とした未来づくり協議会

水道事業について

閭水道管の老朽化が全国的な社会問題になっている。村営水道の管路経年化率は約46%、水道水の安定供給するための管路更新の対策は。

答村長 村営水道の管路延長は約15.7km。法定耐用年数40年を超えた管延長は約72km。更新には数十億の費用が必要。計画的に更新する。

未来づくり協議会について

閭現在の状況は。

答村長 令和5年度、6年度と事業が停滞したことは反省すべき点と捉える。現在、改めて協議会を実施するよう担当課で調整している。

閭アセットの観光再生事業の代替案として始まった村長「肝いり」の事業であるとの認識でよいのか。

答村長 代替案として村の方向性を出すために行ってきた。遅れていることは反省する。

閭リーダーシップをとったのか。

答村長 リーダーシップをとったかどうかは村民が判断する。

閭新年度予算に未来づくり補助金が計上されているが、地域や住民が主体の観光事業ではないか。既存の地域づくり事業との整合も必要でないか。

答村長 意見として捉える。閭補助金のみ予算計上するのではなく、まずは協議会で議論すべきでないか。

答村長 しっかり取り組む。



老朽化により破損した中土水道

村有施設のあり方

『S』ウェルネスクラブ小谷 を考える！



4 コース 25m の温水プール

「『S』ウェルネスクラブ小谷」（以下ウェルネス）は平成23年、旧北小谷小学校の屋外プールの跡地に完成した温水プールやトレーニングマシンなどを備えた『健康増進施設』です。1階にはプールとスチームサウナ、岩板温熱浴、2階にはトレーニングマシンとプールを見下ろす一角にリラクゼーションルームが整備されています。



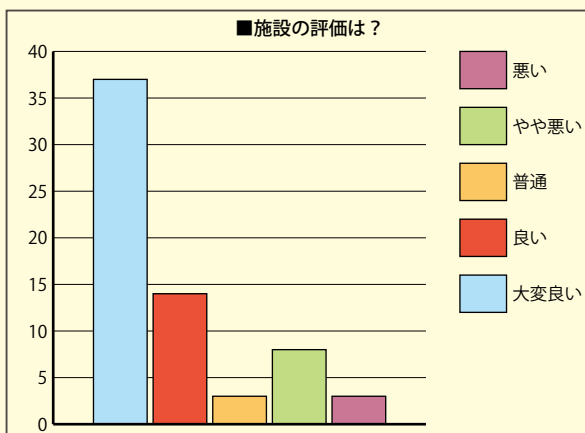
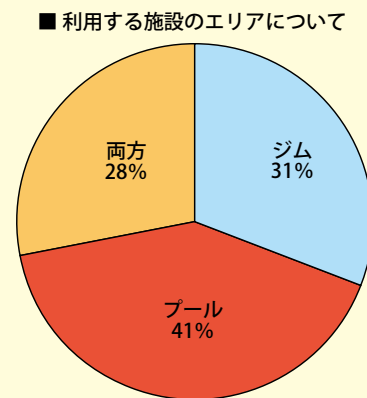
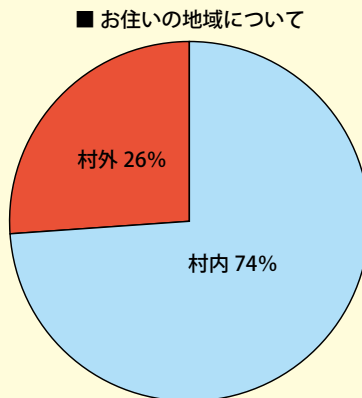
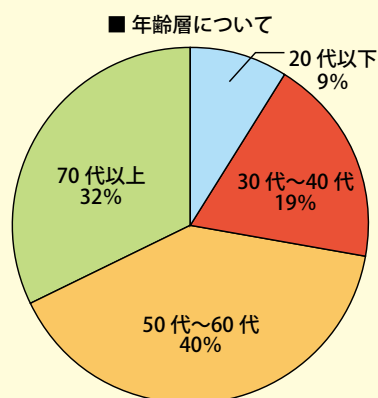
トレーニングジムで健康増進

特にプールは村内でも、極めて大切な存在です。

それぞれの利用にあたっては専門の指導士がその人にあつたトレーニング方法や器具の調整、アドバイスなど適切に対応しています。健康づくりに大いに役立つ施設です。この施設は、館内暖房や温水プール熱源として北小谷温泉（70℃）を活用しています。

利用者の声！

利用者 65 名にアンケート。「施設は良い」が約 80%、施設の清潔感やスタッフの対応に高評価！
しかし冬期の水温に不満など…。



喜びの声

- ・清潔感がある
- ・静かな環境で集中できる
- ・リーズナブルな価格で利用できる
- ・施設内でリラクゼーションスペースの確保ができる
- ・送迎サービスがあり、便利で安心
- ・スタッフがとても親切でフレンドリー
- ・声かけがよく、親身になって接してくれる
- ・スタッフが施設内での指導やサポートを提供してくれる
- ・綺麗でゆったりしている
- ・広い空間で混雑していない



不満の声

- ・岩板浴はオープンした頃は熱かったけど、今はぬるい
- ・人手不足で平日に早く閉館してしまう
- ・ジムの道具が地味
- ・冬になるとプールの水温が低すぎる

ウェルネスおたりの課題

「立地から施設の構造」

住民の健康増進を目的に、プールやトレーニングジム、また体育館も完備しているウェルネス。しかしながら、経営にかかる収益は非常に厳しい状況です。村民のために安価に設定されている利用料と施設維持費の差異が大きい施設です。

また、熱交換により光熱費などには有利な施設ですが、天井までの空間がとても広く、暖房効率が悪いことも見てとれます。

最も大きな課題は、冬期の水温の低さを意見されています。外気温が下がることで夏場以上の熱量が必要ですが、施設の温度維持に対応出来ていないことが現実であります。

現在、小谷村ではウェルネスの指定管理者に対して運営費として約1000万円を支援しています。小谷村の人口、立地条件また利用料金と来館者数を勘案し

ても、なかなか独自で採算ベースにすることは厳しいと考えます。

地域コミュニティの

ハブになる

「施設の特徴を活かす」

2月某日、村内女性グループがウェルネスを訪れ、体操やマシントレーニングをしていました。

介護予防を目的に毎週来館する人々です。談笑しながらスタップに合わせて体を動かします。ココで見たのは「笑顔」です。体を動かす以上に、互いに会話を光景が印象的でした。指導する施設スタッフの



仲間同士で運動講座！明るい笑い声が響く！

荻澤ひとみさんは、「仲間同士で連絡を取り合い、来館し、健康と対話の2つを楽しんでくれている」と語ってくれました。「居場所」や「集合場所」となっているとのこと。

健康増進を行いながら仲間同士の交流の場として、有意義に施設を活用してくれています。

健康第一！

「健康寿命を長くする」国では「健康寿命延伸プラン」が策定されています。健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されない期間を指し、72〜75歳が平均となっています。

楽しく生活するために

「40〜50代の運動不足や生活習慣の改善」は大きな課題と言われています。働き盛りで時間がとれない生活から、運動不足を指摘されている方が多いそうです。また、多くのスポーツ事業を企画する小谷村公民館職

員は「特に40代以降の男性が参加するクラブが少ない」とのことです。

健康で自由な生活をするためには、運動を習慣にする必要もあります。「運動などした結果をデータとして確認でき、効果が見えれば習慣化できる」と健康推進係の担当者の意見です。

他の自治体でも地方創生推進交付金を活用し、健康づくり事業やヘルスツーリズム事業に結びつけるなど健康と観光、健康と人づくりを実践する事例が多数あります。

このウェルネスも健康作りアイテムとして活用できることを望みます。



この施設のいい所は？

目的は？

プールで泳ぐこと。

感想は？

白馬周辺にきれいなプールがあり嬉しい。混雑していないので泳ぎやすい。



染谷オリビアさん

村民の健康増進や福祉に寄与する村有施設は他にもあります。サントインも保養センターとしての位置づけです。村民の健康維持や交流の場として設置している施設は、当然採算がとれるとは考えにくいし、商業的な営業を行う施設とは区別すべきです。村民の憩いの場や集いの場としての機能を理解し、その事業に対して村でも支援することには必要であります。事業者任せにせず、村全体で活用していくことを考えましょう。

どうなる小谷村の

公共交通

ー大糸線ダイヤ改正からの影響ー

12月13日のJR東日本からのプレスリリースで「特急列車の輸送体系の見直し」が公表されました。見直されるのは『**特急あずさ**』。ダイヤ改正により、到着発着駅が南小谷駅から白馬駅に変更されていました。

また、信濃大町駅から南小谷駅間の普通列車区間も減便の内容もあります。

今までは、JR西日本区



南小谷駅であずさを見送るゆるキャラ
(令和4年)

ダイヤ改正の主な内容

	改正前	改正後
上り 新宿 行き	南小谷発 15:00	白馬発 13:41
下り 白馬、南小谷 行き 新宿発 8:00	南小谷着 11:59	白馬着 11:40
信濃大町～南小谷間 (15時以降に限る)	6本	5本 (1本減少)

間における、乗降者の減少など南小谷駅以北の話題がクローズアップされていました。が、今回の信濃大町以北のダイヤ改正が、乗客や村民、また利用数にどんな影響をもたらすか考えてみました。

3月15日以降

どんな影響があるのか？

このダイヤ改正を受けて、3月27日「大糸線を考える懇談会」を開催しました。以前より、大糸線の乗降調査や鉄路振興にご教示くださいました大糸線応援隊の倉持達也氏をお招きし、大糸線や公共交通について懇談を行いました。議員の他、観光関係者、議会から依頼した

村民が参加しました。

今回のダイヤ改正の影響について、倉持さんは従前から南小谷以北での乗降調査の結果を踏まえ、「西日本区間の乗降者数への影響が大きい」と予想しました。『**あずさ**』から南小谷に接続する、糸魚川から南小谷、そして『**あずさ**』へ乗り換える。1日の乗車数の半分以上を占めるこの接続がなくなると、西日本区間は大きく乗客数が減少する可能性がある。」とのこと。さらには、大糸線

増便バスを利用した方が白馬発の『**あずさ**』への接続が便利であることも指摘しています。「あくまで持論」との意見ですが、南小谷以北については、通勤通学での利用より、観光地を最終目的地とする乗車のほか、山から海への列車の旅を好む乗客が多い傾向とのことです。白馬駅、南小谷駅でそれぞれ乗り継ぎの負担が増えることで、この春以降の乗車人数にどんな影響が出るか不安とのこと。



大糸線を愛する 倉持達也さん

昭和 34 年 8 月 26 日生
神奈川県藤沢市出身
大糸線応援隊 NO.1284

【経歴】

駒澤大学卒

富士物流株式会社 富士物流社史編纂に従事

【大糸線に興味を持った経過】

・昭和 50 年代、白馬へ行く予定で新宿から乗った夜行急行アルプスで寝過ごし、終点の信濃森上駅まで行ってしまった。仕方ないので歩いて白馬駅まで向かう途中の松川の橋から見た朝焼けの白馬岳の美しさが忘れられなかった。

・国鉄時代の長野鉄道管理局管内の列車が好きで、学生時代によく乗りに行った。長野局管内は当時「アルプス」「天竜」「きそ」等の急行列車が多く走っており、大糸線にも何度か乗った。

© 2022 年 2 月 3 日、JR 西日本が出した「大糸線沿線の活性化および持続可能な路線としての方策検討の開始について」を見て、「胸騒ぎ」を覚え、JR 西日本管内の大糸線を訪れるようになった。乗車の都度、乗降人員の把握等「誰にも頼まれていない調査」を実施。

大町岳陽高校へ通学するNさん

令和7年3月のダイヤ改正により電車の本数・時間に変更があったことで帰宅する時間が遅くなる。

●部活動等が休み・所属していない場合

第6時限終了が16:05、HR終了が16:20。ダイヤ改正前は信濃大町駅発16:36、南小谷駅着17:35だったが、改正後は信濃大町駅発17:08、南小谷駅着18:01となり、到着が25分ほど遅くなる。

●部活動等がある場合

部活動等終了がおおよそ18:30。ダイヤ改正前は信濃大町駅発19:26、南小谷駅着20:24だったが、改正後は信濃大町駅発18:55、南小谷駅着19:51となる。南小谷駅着の時間は30分ほど早まるが、片付け等で時間に余裕がなく、上記の時刻で乗れなかった場合、信濃大町駅発20:21、南小谷駅着21:16となる。

ダイヤ改正により、部活動の時間を早めに切り上げるしかないが、他のメンバーに負担や気遣いがあり苦労するといった声がある。保護者からは部活動に専念してほしいという意見もある。

●半日で学校が終了する場合

授業や部活が、午前中のみで終了する場合、今までは信濃大町駅発12:21、南小谷駅着13:20だったが、改正後は信濃大町駅発12:04で乗車が厳しい状況。次の列車は信濃大町発15:16となり3時間の待機となる。

白馬高校へ通学するYさん

●部活動等が休み・所属していない場合

第6時限終了が15:15でHR終了が15:30。ダイヤ改正前は白馬駅発15:51、南小谷駅着16:10だったが、改正後は15:59白馬駅発、16:17南小谷駅着となり、到着が7分ほど遅くなる。従前とさほど影響ない。

●部活動等がある場合

部活動等終了がおおよそ18:00。ダイヤ改正前は18:40白馬駅発、18:59南小谷駅着だったが、改正後は19:32白馬駅発、19:51南小谷駅着となり、南小谷駅の到着が1時間ほど遅くなる。

特急よりも

大きな負担が！

高校生の叫び

今回の懇談会に、実際にJRを利用し大町市へ通学している高校生にはどんな

影響があるのか？

懇談会には、通学する学

生の親族が出席し、通学への影響を話してくれました。

近年それほど大きなダイヤ改正がなく、通学への影響を考えることはなかった

のですが、今春のダイヤ改正は、利用者には少なからず影響があるとのことでした。

現在、小谷村在住の高校生で大町市へ23人、白馬村へ12人。全てがJRを利用

しての通学とは限りません

が、昨年から利用していた高校生は戸惑うとの意見でした。

そして、最後に次の要望を意見しました。

- ①ダイヤ改正は、住民の生活スタイルにあった運行を！
- ②通学している生徒や保護者へも説明・相談する機会を希望する！
- ③運行本数が削減されるなら、シャトルバスなど代替をお願いしたい！
- ④運休も同様に代替輸送が欲しい。公休扱いとなるが学校へ行きたい！

利用者からの切実な希望

でした。参加者からは、「村は、特急あずさの乗り入れ廃止を主に説明しているが、本題は住民への影響の方が課題ではないか。小谷村から高校への通学に負担がかかることは、子育て政策や移住定住施策との矛盾が生まれる」と言った意見がだされました。

あずさ復活の

道しるべ！

すぐに行動すべき！



臨時列車や特急が南小谷駅へ集結
(令和5年のイベントの様子)

“あずさ復活”に向けた議論では、「まず臨時特急を」が倉持さんの提案です。全国の事例から特急の廃止を覆すのはかなり厳しいそうです。まず臨時列車の誘致から始め村民の盛り上がりや利用者増への取り組みをと助言いただきました。「ただし、臨時列車の運行には半年ほど調整時間が必要」とのこと。臨時便を含む“あずさ復活”を掲げるならば、素早い行動が必要になります。

議会活動報告

新ゴンドラを視察

雄大な景色を演出

3月4日、白馬村の岩岳マウンテンリゾートに昨年12月にオープンした新ゴンドラリフトを視察してきました。

38年ぶりにリニューアルされ、車内空間が広く360度見渡せる全面樹脂ガラスの快適な空間でした。

北アルプスの絶景のほか、小谷村方面、雨飾山や火打山など妙高戸隠連山国立公園の山並みも一望できます。10人乗り、1時間あたり2460人の輸送力がある快適な空中散歩が提供できる施設でした。



4面ガラス張りのゴンドラ

小川村議会が訪問

議会の情報発信

2月17日、小川村議会が視察に訪れました。目的は、議会の広報や広聴の改革を検討している中で、小谷村議会の広報手法の視察でした。



小川村議会議員訪問

令和6年度から一般質問のYouTube配信や、議会だよりの刷新の経過などを懇談しました。小谷村議会広報委員長相澤稔議員は、「SNSを活用し、原稿収集から確認作業をデジタルで情報共有している」と答え、特集内容の質問に対しては「特集内容を広報委員で協議し、テーマを決定して原稿にしている」と説明しました。

子ども達を見守る～元気よく学んでほしい～



表紙のひと 相澤八重子さん（宮下）

「おはよう！」「気をつけてね！」、中学校下の通学路でにこやかな声が響きます。

声をかけられた小学生は、その倍以上の大きな声で「おはようございます！」と返します。

通学路の1コマの風景。毎朝通学路で見守ってくれるのは、相澤八重子さんです。

ご存じのとおり、相澤さんは教員として多年子ども達の指導を行ってきました。「相澤さん」よりも「相澤先生」と言った方が馴染みがあります。

「子ども達にあいさつされることで、自分が元気をもらえる！お節介かもしれないけど楽しいです！」毎日子ども達に笑顔で接してくれる相澤さん、本当に頼もしいです。

朝の小谷村民の温かさが伝わる光景です。



編集後記

厳しい長い冬を乗り越え待ちわびた春になりました。

ご入園、ご入学、ご進学、ご就職を迎えられたみなさんおめでとうございます。健やかに充実した生活を送ってください。

さあ、これから田んぼや畑に忙しくなります。

私はまず野菜の種まきからです。どの畑に何を植えるのか…と、うきうきしながら作業をします。

農作物は天気によって左右されます。雨が多すぎてもダメ、少なすぎてもダメ。かしながら、今一番の恐怖は獣害です。何とかしないと。

保育園や学校給食に地元農作物を提供し、たくさん食べてもらうことが私の喜びでもあります。

（広報委員 田原富美子）

